

# 常なる磐

つねなる いわ

令和3年3月24日(水)

## ◇ 常磐東小学校 校歌に想う

令和2年度(2020-2021)。

振り返れば、目に見えない大きな敵と戦う複雑な社会情勢の中、数多くの制約に屈することなく対応し、成果を上げた子供たち。全校児童が本当によく頑張った1年であった。

制約は、時に人を成長させる。

注意を払い、一つ一つを丁寧に対応していく学校生活。

指示をしっかり聞く習慣も身につけた。

指示の意図を考えることの大切さに気付いた。

指示を行動につなげ、やり続ける粘り強さも身につけた。

小さな歩みではあるが、確実に前に進むことのできた1年であったともいえる。

校歌に照らし合わせれば、2番の歌詞があてはまる。

学校が求め、全うすべき子供の姿を分かりやすく、しかも簡潔に、それでいて身を引き締めさせる歌詞。卒業証書授与式の式辞にも織り込んだ一節。

腕組む影さえ輝いて  
常磐東の学び舎に  
正しく鍛える身と心

「正しく身体と心を鍛えれば、平面で色のない影でさえ輝く」という喩えだ。

「影」を形容する「腕組む」がよい。

正しく鍛えた身体と心が備わっているから、腕を組む姿が堂々としているように連想させている。しかも、「鍛える」が後に続くことで硬くなりがちな歌詞を、「腕組む」が加わることで軽快に仕上げている。

さらに、「鍛える」を形容する「正しく」がよい。「正しく」＝「正統派」。

この言葉がすべてを治め、整えているといってもよい。

令和2年度。まさに子供が「正しく鍛える」を全うで生きた1年であった。

そしてこの経験は、今後必ず生きるのである。 児童、担任に拍手!!!

児童昇降口右手に【校歌碑】がある。

興味深いのは、「校歌」ではなく、【常磐東小学校の歌】と題目があること。

理由は定かではないが、間違いなく「校歌」である。

